

平成29年度の実績

「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」に基づく公表について

ふじみ衛生組合では「処理施設緊急時及び要望等対応マニュアル」を作成し、施設稼働における緊急時の対応手順と当組合に寄せられた要望等の処理手続きを定めています。それらの実績については年度ごとに公表することとしています。

平成29年度中（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の廃棄物処理施設の緊急事象は以下のとおり1件ありました。

なお、要望等はありませんでした。

1 水銀濃度の上昇による1号炉の稼働停止について（平成30年2月27日発生）

(1) 経過

2月27日（火）午前10時12分ごろ、1号炉の排ガス中の水銀濃度が急激に上昇し、自主規制値 $0.050\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ を超え、午前10時29分には $0.200\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ となりました。実証実験中の水銀制御システムが作動し、水銀濃度の上昇に合わせて活性炭を1時間当たり最大20kg吹き込んでも2時間後にも自主規制値を下回らなかったため、12時30分に稼働を停止し埋火操作を開始しました。

（1号炉の停止期間2/27～3/1）

(2) 原因

2月26日（月）のごみを焼却したために発生したと考えますが、原因は究明できていません。バグフィルター前の水銀濃度と排ガス量から、混入された水銀量は300g以上と推定します。

※参考 平成28年度の実績

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 廃棄物処理施設の緊急事象 | 2件 |
| 2 要望等 | 実績はありません。 |